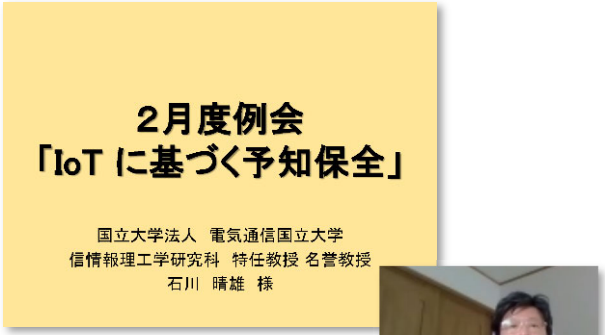
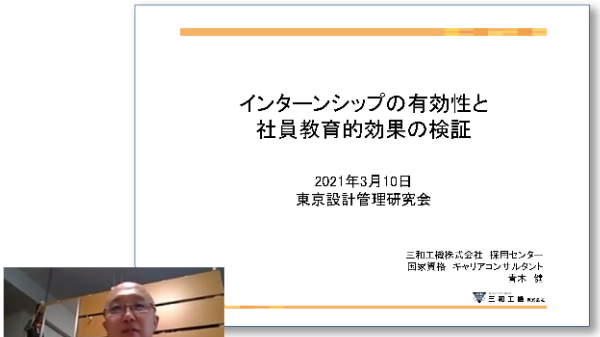
3. 2021年度トピックス

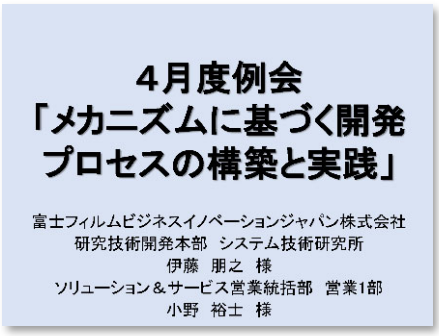
1. 新型コロナ感染症の猛威はいまだに収束には至らず、世界経済に大打撃を与え、そして、生活様式も大きく変える事になりました。当会もその影響から、今年度の例会は全てZoomによるWeb開催となりました。

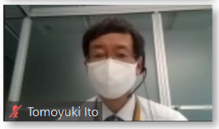


第508回 2月度例会
電気通信大学 石川様



第509回 3月度例会
三和工機(株) 青木様



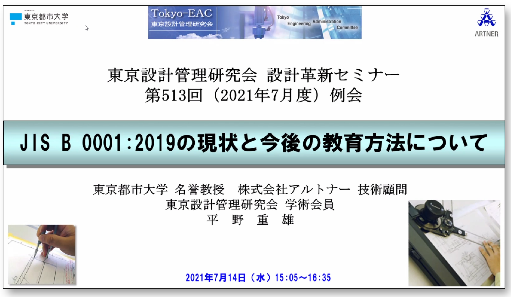


第510回 4月度例会
富士フィルム ビジネス
イノベーション ジャパン(株)
伊藤様 小野様

(株)NTTデータ
エンジニアリング
システムズ
服部様

ダイキン工業(株)
羽木様

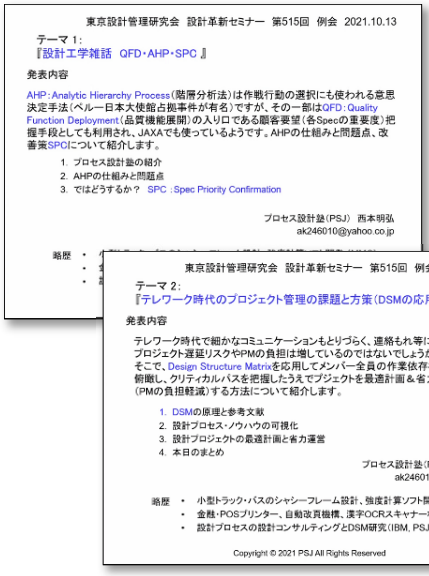
第511回 5月度例会



第512回 7月度例会
東京都市大学 平野様

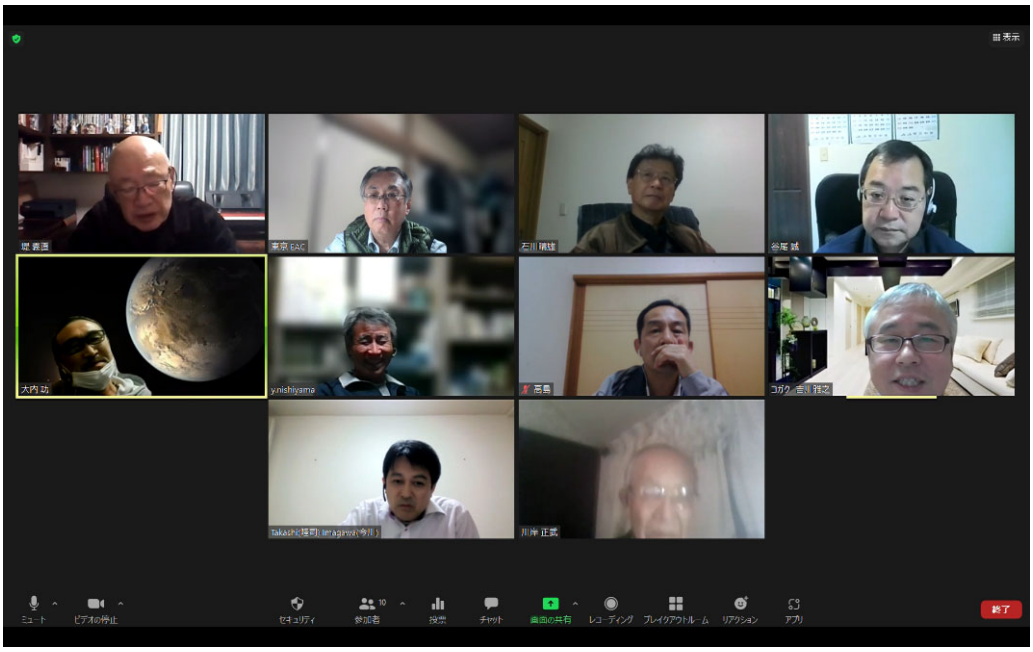
第513回　9月度例会（株）GSユアサ　相坂様

第515回　11月度例会　（株）構造計画研究所　森様



第514回　10月度例会
プロセス設計塾　西本様

2.　例会の発表内容を肴に、毎回例会後にオンライン懇親会を開催しまいた。
　　来年は、リアルでお会いしたですね。



３．当会の名誉会員である、新井 泰司先生
（都立工業高等専門学校名誉教授）が
令和３年９月１０日に９６歳で永眠されました。
故人の東京EACでのお姿を思い返しながら、
ご冥福をお祈りしたいと思います。

教育研究部会においては「設計技術者の育成と将来問題（技術者の道）」をテーマとした内容で、2009年11月から2010年7月までの間に、3回のシリーズにてご発表を頂きました。

設計技術者を育てるための精神、方法を理念に立ち返り、人間としての資質を高め、豊かな人間像を形成する場として、教育の大切さを述べて頂きました。

そして、東京設計管理研究会の創立55周年記念式典(2012年12月）において、功労者表彰をお受けいただきました。

工藤前会長から功労者表彰を受けられる新井先生

記念式典パーティで川岸前会長とのツーショット

会員の方々からの追悼メッセージ

● いつもバイタリティーでウイットに富んだお話しをしてた新井先生。55周年記念式典で功労者表彰を授与することができ光栄でした。 工藤康寛

●55周年記念でのお元気な姿が今でも目に浮かびます。どうぞ、安らかに。 吉川 雅之

●令和3年9月10日、本会名誉会員 新井泰司先生がご逝去されました。96歳でした。謹んで哀悼の意を表します。先生には当会設立（昭和33年設計事務管理研究会として発足）当初から貴重なご意見、ご指導を頂いておりました。想いを馳せますと、当会の昭和37年度版研究資料（先生より頂く）には、当会は、“設計部門において使用している機材の改善を推進することにより、ものと方法の両面から設計の合理化のための活動を続ける”とありました。この研究資料には、製図管理における工数削減のための簡略図法、組織的検図法、製図機械の自動化、第二原図の品質改善、マイクロフイルムシステムの現状と今後のあり方 などの提案が収録されておりました。先生から頂戴したこの設立当初の活動記録によりものづくり先輩の皆さんの管理者･実務者各位の日常業務の改善に取組む姿勢を推察することができまた。 （続 く） 川岸 正武

（続　き）
先生は当会設立当初から長年に渡り当会の発展にご尽力され、温厚な人柄は誰もが認めるところです。しかし、自分の信念には忠実で、それに違うときには決して妥協することなくご自分を貫かれるという一面もお持ちでした。先生は多数の優れた教科書、専門書を出版し、工学系学生の教育、技術者の育成に多大な貢献をなされました。晩年は眼がご不自由で入居しておられたヒルデモア世田谷岡本でお過ごしになられました。たびたび訪問し、お話を伺うことができました。居室には先生の著書、共著書30数冊が棚いっぱいに整理されており先生を見守っているようでした。先生との思い出は尽きませんが、先生の優しかったお人柄を偲び、感謝の意を表しますともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

川岸　正武

● 新井泰司先生については数多くの思い出があります。設計技術者の育成が企業にとっていかに重要であるかを痛感させていただきました。このことは私が注目している“デザイン経営”（現在、国を挙げて経産省が推進しています）にも通じます。
本当に感謝いたします。合掌

阿部 幸男

● 製品設計に携わるものとして、多くのことを学ばせていただきました。 また、企業で技術者教育を実施する上でも、多くの示唆をいただきました。深く感謝いたしております。
ご冥福をお祈りいたします。

松前嘉昭

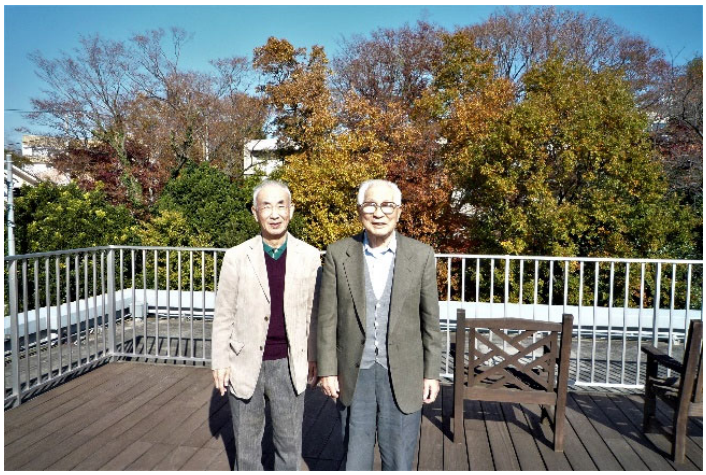
環境・安全対応設計部会をコマツテクノセンター（伊東市）で 2008年に開催

研究部会活動においては、環境・安全対応設計部会に参画され、環境規制に対する対応策や製品安全に対する設計技術の役割などについて設計技術者の目線から見たアドバイスを頂きました。

大型ダンプトラックの試乗を終えてご満悦の笑顔

真剣な顔つきでミニ建機の操縦体験

施設内のご自分のお部屋でくつろがれる新井先生



東京EACの発展にご尽力を頂いた新井先生と宮内さん

会員の方々からの追悼メッセージ

● 新井先生が施設に入られてから、一度宮内さんと訪問したことがありました。屋上からは多摩川の先に富士山が見えるとても良い所でした。新井先生は、目が悪いため介添えがないと外出ができないとのことで、例会にはぜひ参加したいがなかなか行けないと大変残念がっておられました。

吉田　健

● 新井先生と最後にお会いしたのは、二子玉川の施設を訪問した時でした。再会をとてもお喜びになられて、施設内や富士山の見えるデッキをご案内頂きました。天国では2019年にお亡くなりになった故宮内様と設計談議を楽しんで下さい。

西山 洋一

● 新井先生の想い出は、例会発表者に対するご指摘で鋭く切り込みながらも、ちょっとお茶目な雰囲気で場を和ませるという素敵な方であったことです。また、例会後の懇親会の場で隣の席になる度に某造船の株価暴落で大損したというお話をされ、いや、それを私に言われても、という掛け合いを毎度していたことが懐かしく思い出されます。

林田 雅裕

● 新井先生には、まだ整備されていない新人研修に大きな影響を与えて頂きました。
その後、河西さんに受け継がれて、現在に至っております。
色々と、ご指導頂き、ありがとうございました。

石塚　偵

● 明るい性格で、見学会では笑いの中心におられました。
施設へ伺った際にはたくさんの書籍に囲まれながら、まだ書いてみたいテーマがあると仰る姿勢にこちらが元気を頂きました。
道具や環境が変わっても、ものづくりや技術伝承の魂は引き継いでまいります。

高島　久

東京EACの発展にご尽力を頂いた新井先生と宮内様の
心よりご冥福をお祈りいたします。